

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたって、市長をはじめとする執行機関に対し事務の執行の状況および将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質すものです。

今回の定例会では24名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問に対する答弁のうち、一人につき一項目を掲載しております。

武道館の整備

新生クラブ 佐古 一夫

質問 学習指導要領も改正されたことから、財政的に可能な範囲で、合併特例債を活用した武道館の整備を真剣に検討してはどうか。

答弁 子供たちをはじめとする武道愛好者が稽古するため十分な練習場などの確保が難しい状況にあることは認識している。新学習指導要領において中学校で必修になったこと等により「武道」の果たす役割が見直されるものと考えており、武道館整備については、今後の課題の一つとして検討を深めたい。(教育長)

子供の生活習慣病の予防

公明党 小谷野 千代子

質問 肥満や糖尿病などの子供の生活習慣病の実態をどのように把握しているのか。また、生活習慣病が心配される子供への対応はどうするのか。

答弁 生活習慣病の実態把握は難しいが、定期健康診断の結果に基づく肥満の割合や、尿検査の結果を参考にし、生活習慣病が心配される子供の全体的な傾向をとらえていきたい。また、生活習慣病が心配される子供へは、一定の検査等が必要と考えており、どのレベルで検査するかを含め検討したい。(市長・教育長)

食の安全と食品表示

民主・市民ネット 斉藤 佐知子

質問 食品表示は、消費期限と賞味期限の違いなど消費者にとつてわかりづらい面があるが、わかりやすく周知する考えはないか。

答弁 法律の規定等による表示事項は、消費者の商品選択や衛生上の危害発生防止のため必要な情報と考えており、消費者が日常関心のある一般的な表示事項を有効に利用してもらつたため、講習会の開催や出前講座、パンフレットの配布等に積極的に取り組む、食の安全・安心の確保に努めていきたい。(保健所参事)

スケトウダラの資源管理

市民クラブ 佐々木 信夫

質問 本年4月のスケトウダラ資源管理協定の改定を機に、履行状況を容易に確認できる仕組みづくりについて北海道に対し働きかけできないか。

答弁 当該協定は、関係漁業者による自主協定であり、参画する漁協が自らのルールとして定めることが基本と考えられているが、市内沿岸漁業者からは協定の内容や数量確認の手法に不公平感があると伺っていることから、漁協の意向を聞いた上で、協定締結にあつた指導を行う道に対し、伝えていきたい。(農林水産部長)

神山・陣川地区の児童館整備

民主・市民ネット 板倉 一幸

質問 児童館未設置地区である神山・陣川地区での児童館整備について、まちづくり3か年計画に位置づけ実施していく考えはないか。

答弁 まちづくり3か年計画については、現在、中期財政試算における事業費の財政的枠組みを十分考慮しながら、事業の優先度、緊急度なども勘案し、策定作業を進めているところである。未設置地区への児童館の整備については、まちづくり3か年計画に位置づけ、取り組んでいきたいと考えている。(市長)

スポーツ施設整備の考え方

市民クラブ 小野沢 猛史

質問 市民体育館を建て替えるできない本当の理由を伺いたい。地域振興に必要であれば、その推進に努めることが市長の責務ではないか。

答弁 財政状況を含めて総合的に判断すると、市民体育館はリニューアルして使っていくことが一番よいのではないかと考えている。今の状況を考えれば、子供の活動や指導者の育成などハードよりソフトに予算を配分していくことのほうが、正しい地域振興のあり方と考えている。(市長)

資格証明書の扱い

日本共産党 丸尾 隆子

質問 国民健康保険の資格証明書発行を中止する考えはないか。また、発行されている18歳未満までの子供に保険証を発行する考えはないか。

答弁 資格証明書は、被保険者間の負担の公平性確保などのため、特別な事情のない1年以上の保険料滞納者への交付が義務化されているが、子供の医療環境確保は重要と考えていることから、これまで小学生以下を対象としていた通常の保険証の交付について、18歳未満に拡大する方向で早期に取り組みたい。(市長)

青果物地方卸売市場の活性化

新生クラブ 出村 勝彦

質問 市場を取り巻く環境は、市場外流通の拡大など厳しい状況にあるが、市場として何か方策をとるべきではないか。

答弁 市と市場関係者による「市場のあり方検討委員会」での検討では、販路拡大や特色ある市場づくり等に取り組むべきとの共通認識を持ったところである。新たな取り組みとして市場見学会での野菜ソムリエの活用などに着手したが、今後も産地と連携して特色ある産品を取り扱い、販路開拓など、業界全体で取り組んでいきたい。(農林水産部長)

定額給付金の申請方法

公明党 瀬尾 保雄

質問 申請方法の周知や本人確認の簡略化策など、窓口の混乱を避けるための方策等をどのように考えているのか。

答弁 給付金の支給方法は、郵送で申請後に口座振込窓口で申請後に口座振込窓口で申請後に現金手渡し、が示されている。窓口での混乱等を防ぐには、口座振込による給付が一番の防止策と考えており、事前周知を十分に行いたい。また、本人確認や代理手続などの具体的な対応策は、後日、国から示されることになっている。(理事)